

プレゼンテーションアワー 2019 年度 活動報告書

総合文責：小島未莉

1. Introduction

Presentation Hour is a casual event with the purpose of *ideas worth sharing*, which anybody can share anything from their hobby to possession, and the specialty of this event is that the presentation made here consist of 20 slides, 20 seconds each. It is opened to all Nagoya University members free of charge, and many people from different faculty join to listen to the presentation. We aim to create a relaxed atmosphere during the whole event including the presentation by preparing coffee and snacks. This *Presentation Hour* first started as a special event of *Small World Coffee Hour* in 2014, and after this, it became an independent organization, which aims to hold an event every semester, twice a year. Our belief is to create a platform for students, not only Japanese but also for international students who have different backgrounds or studies, to share their ideas and feelings. Therefore, Presentation Hour is held in both Japanese and English. Year by year, the scale of event has been increasing through our effort of searching for speakers, improving the event with creativity, and organizing the event more smoothly. This year, on the event in the spring semester, we emphasized on recruiting student speakers who we want to hear stories from, due to limited numbers of organizers. For the event on fall semester, we changed the date to December, so it would be easier to organize, and more people will come to our event rather than February, which is close to the final exams. Our next goal is to recruit organizers who would create Presentation Hour with us and focus on spreading the event so it would reach to more people who are interested in it.

2. 団体紹介

Presentation Hour(以下プレゼンアワーと省略)は、「Small World Coffee Hour」(以下コーヒーアワーと略)の特別企画として2014年に発足し、以来、年に2回、各学期に1回を目標にプレゼンテーションイベントとして企画・運営をする団体である。ただのプレゼンテーションではなく、20枚のスライド、それぞれが20秒と、簡潔に内容を伝えることが求められている。そして、留学生や日本人学生など多様な文化や専門をバックグラウンドとして持つ学生がアイデアを自由に共有する場所を提供することを目的としている。

発足以来、プレゼンターの募集やイベントの運営の工夫、マニュアルを作成して組織運営を円滑化することで、年々プレゼンターの参加者募集も増大し、規模が大きくなっ

ている。2018年度は前年度に引き続き学生プレゼンターの募集に力を入れ、特に春学期開催のプレゼンアワーでは、イベント運営の経験者が限られていたため、話を聞きたい方々に直接登壇の打診をすることでプレゼンター選出の負担を軽減した。また、秋学期のプレゼンアワーは時期を例年の2月ではなく、12月に開催することで、試験期間による運営側の負担を減らし、より多くの人に来ていただけるように工夫をした。

2-1. 理念

留学生、日本人学生を問わず、プレゼンターが自分の経験、活動や興味を発信し、オーディエンスがそうしたプレゼンターの活動や考え方をすることで、参加者全員の知見を広げていくことを目標としている。それぞれの文化的背景を考慮した上でプレゼンターとオーディエンス、もしくはオーディエンス同士が交流を深めることができるように心がけている。

2-2. 特徴

- ▶有志の学生が中心となって活動を行っている（学部・学年・国籍は問わない）。
- ▶誰でも参加できるようなオープンなイベントを1学期に1回開催できるように企画・運営を行っている。
- ▶プレゼンターには様々な価値観、文化や専門をバックグラウンドとして持つオーディエンスに対しての配慮（言語、文化、専門知識）をしていただくことを心掛けている。

3. 活動紹介

3-1. 活動について

●ミーティング

週に1度（毎月3~4回）の頻度でミーティングを行い、約3か月間の準備で1回のプレゼンアワーのイベントを企画している。ミーティングではプレゼンター募集のチラシ作り、プレゼンターの顔合わせ、リハーサル、プレゼンアワー当日のスケジュール相談、担当役割決め、そして会場レイアウト決めなど行っている。各ミーティングでは議事録を作成し、メーリングリストを利用して情報を共有している。

●広報活動

イベント広報のポスターを各学部および研究科・国際教育交流センター・生協・食堂などに掲示する。また、留学生相談室から学内の留学生担当者に依頼し、イベント告知のメールを流す。Facebookではイベント前約一か月間をかけ、プレゼンテーションの内容やプレゼンターの紹介などを行うなどでイベント周知を図っている。

【7月 第10回プレゼンテーションアワー】

文責：鈴木有咲

「第10回プレゼンテーションアワー ～世界に広がる20秒～」

日時・場所：7月12日（金）16:30～19:30 @国際棟 1階ラウンジ

参加人数：約40人

当日の流れ：

- 14:45 レイアウトに沿って会場設営開始
- 15:00 生協購入品、ケータリング到着予定
- 16:15 受付開始
- 16:30 イベント開始
- 19:30 イベント終了、写真撮影、片付け
- 19:45 懇親会開始
- 20:30 懇親会終了、片付け

●イベント概要

記念すべき第10回目を迎える今回は、プレゼンターを一般公募ではなく、直接団体や個人にオファーするという形で、8名の方に登壇いただいた。留学生、G30の学生も計3名参加していただき、日英のバランスも良く行うことができた。事前にテーマを絞ってプレゼンター募集をしたわけではなかったが、国際交流好きな方々が集まったこともあってか、全体として統一感のある内容となった（詳細はプログラム参照）。参加者交流・会話の機会として、プレゼンテーション間に2度のCoffee Break(休憩時間)を設け、会場レイアウトや音楽にも気を配った。コーヒーを片手にリラックスして、プレゼンターと参加者の双方が楽しめるような空間作りを心掛けた。

●実施した感想

経験者のメンバーを中心として、協力し合いながら本番当日も特に問題なくスムーズに進行を行うことができた。

今回は、複数の日本人学生の方々から留学経験のお話について話していただき、又、留学生・G30の学生の方々からは「女性の権利」について、日本人の視点からは見えにくい角度で問題に切り込んでいただき、興味深く思った。それだけではなく、趣味や出身国の文化についてのプレゼンテーションもあり、自分の趣味や専門分野とは全く異なる方面のお話も聞けることもこのイベントの醍醐味であり、自身への刺激となる素敵な機会だと感じた。

●気が付いたこと（改善点など）

留学のとびらやNUFSAの方々等が来て下さったが、その一方で、他のコミュニティの学生や大学構成員の参加が少ないように思った。より多くの方々に足を運んで頂く

ために、また知名度向上のためにも、プレゼンターのコミュニティに多様性が生まれるとよいと考える。また、プレゼンターの関係者以外の方にも行き届くような広報、そして気軽に参加できるような雰囲気作りをこれからも継続していきると良いと感じた。

●イベントポスター、プログラム



Coffee Hour Presents
PRESENTATION HOUR 10 ~20 seconds of Inspiration~
 Presentation Hour is a casual conference for ideas worth sharing. 8 speakers are going to make presentation. The speakers are showing 20 images, each for 20 seconds in English or Japanese. You can enjoy their performance with free coffee and snacks. Come and join us!

Friday, 12th July 4:30-7:00 p.m.
 International Education & Exchange Center (IEEC) Lounge

Presentation Themes

- Hiroko Masuda: Language and Nation
- Yuma Fukami: I CAN FLY
- Ayano Noba: Everyone is Different, Everyone is Special
- Ryosuke Watanabe: Exchange Life in SMU
- Elif Erdogan: Marriage, Love and Feminism
- Wendy Wuys: Why Women Will (not) Save the Planet?
- Erika Iwasaki: Your Own Way to Explore the Pleasure of Art
- Isobel Cole: Changing Opinions of the Australian Landscape

Check details of speakers on our Facebook! @meidaicoffeehour

Participation
 Please fill in the Google form for the registration
<https://forms.gle/2Ck4gEzW7uJdJd>



コーヒーワー特別企画
PRESENTATION HOUR 10 ~世界が広がる20秒~

20枚のスライド×20秒の形式で行われる様々なテーマのプレゼン。コーヒーや軽食も学部に無料で楽しめるイベント。今回は英語と日本語。使用言語は日本語と英語。参加無料。途中参加・退席OK。

7月12日(金) 4:30-7:00 p.m.
 場所◎国際棟(国際教育交流センター)1階ラウンジ

Presentation Themes

- 増田 浩子: 国と言語の関係性
- 深見 勇馬: I CAN FLY
- 野嶋 彩乃: みんなが違って、みんないい
- 渡邊 健介: シンガポール経営大学(SMU)での留学
- エリフ・エルドアン: 結婚・愛・フェミニズム
- ウェンディ・ウッツ: なぜ女性は地球を救える(ない)のか?
- 岩崎 綾里加: 自分流の美術の楽しみ方
- イソベル・コール: オーストラリアの景色に対する意見の変化

スピーカーの詳細はFacebook をご覧ください! @meidaicoffeehour

参加申し込み
 フォームへの事前申し込みをおこなってください。
<https://forms.gle/2Ck4gEzW7uJdJd>

-- Presentation Ther Date: July 12th Sun. 16:30 - 18:40
 Place: 国際教育交流センター 5階 5F Lounge

Times	Presenter	Title	Language
16:30		Opening remarks	
16:35	岩崎綾里加 Erica Iwasaki	自分流の美術の楽しみ方 Your Own Way to Explore the Pleasure of Art	日本語 Japanese
16:55	渡邊健介 Ryosuke Watanabe	シンガポール経営大学(SMU)での留学経験と学んだこと Exchange life in SMU	英語 English
17:15	深見勇馬 Yuma Fukami	I CAN FLY	日本語 Japanese
Coffee Break			
17:45	エリフ・エルドアン Elif Erdogan	結婚・愛・フェミニズム Marriage, Love and Feminism	英語 English
18:05	野嶋彩乃 Ayano Noba	みんなが違って、みんないい ~私がアメリカ留学で学んだこと~ Everyone is different, everyone is special	日本語 Japanese
18:25	イソベル・コール Isobel Cole	移民時代から現在へ、移民のオーストラリアの景色に対する意見の変化 Changing Opinions of the Australian Landscape from Immigrant Australians	英語 English
Coffee Break			
18:55	ウェンディ・ウッツ Wendy Wuys	なぜ女性は地球を救えるのか? (救えないのか?) why women will (not) save the planet?	英語 English
19:15	増田浩子 Hiroko Masuda	国と言語の関係性 世界のいろんな言語事情 Language and Nation -various language situations in the world-	英語 English

プレゼンターは、写真やビデオの撮影はしていません。撮影したい方はご自身で準備してください。
 During the event, we are going to take a video and photo. If you want to shoot, please bring your own camera.

●イベントの様子



【12月 第11回プレゼンテーションアワー】

文責：山道 知可

「第11回プレゼンテーションアワー ～世界が広がる20秒～」

日時・場所：12月13日（金）16：30-19：30

参加人数：約40人

当日の流れ：

14：00- 設営・準備（椅子出し、機材準備）

15：00- 生協購入品、ケータリング受け取り

16：15- 受付開始

16：35- イベント開始

16：35- プレゼン開始

（途中2回 休憩～Coffee Break～）

19：30- イベント終了、記念写真撮影、懇親会準備・開始

20：00- 片付け開始

●イベント概要

第11回の本イベントでは、公募で募った8名の学生により、文化や趣味、医療など幅広いジャンルに関する発表が行われた。本イベントの特徴としては、スピーカー8名中7名が留学生であり、留学生が多かったことが挙げられる。したがって7つの発表が英語で行われた（テーマの詳細は下記タイムテーブルを参照）のだが、より多くのオーディエンスに楽しんで頂くため、司会者は各発表が終わる毎にサマリーの通訳を日英で行った。また、今回は付属高校にも広報を行ったため、高校生のオーディエンスも数名見受けられた。

●実施した感想

どの発表も非常に興味深い内容であり、オーディエンスの方々からも積極的に多くの質問が出たため、質疑応答の時間が各発表を深掘りする有意義な時間となった。また、発表の合間の休憩中には、プレゼンター・オーディエンス・スタッフの垣根を越えて交流が盛んに行われており、各々がコーヒーやお菓子を片手に、会話を楽しんでいたため良かったと思う。

●気づき（改善点など）

本イベントでは、当日の運営スタッフが不足していたため、コーヒーアワー等、他の国際交流団体から手伝いを募集した。スタッフの卒業や交換留学により、来年度からは更にスタッフの人数不足が予想される。したがって、他の国際交流団体とも協力しながら、スタッフ募集に力を入れる必要がある。一例として、今年度は、新入生向けに行われる「地獄の細道」に参加し、新しいスタッフを集めたいと考えている。

また広報に関して、当日はオーディエンスが流動しながらも常に会場には20人ほどのオーディエンスがいたため、ポスターやFacebook等を使った広報が比較的上手くいっていたと考えられる。

●公募用ポスター（日英）・当日のタイムテーブル

第11回
プレゼンテーションアワー
~世界が広がる20秒~

プレゼンのルールは？
20スライド×20秒
400秒で行うプレゼン
言語は日本語もしくは英語
テーマは自由！
（異文化体験、留学体験、
ライブパフォーマンスなど）
フリータイム
最善のアイデアを話し、
各テーマの文化とメンタルヘルスマネジメント
の両方について発表

どんなイベント？
イベント日程
2019年12月13日（金）
16:30-18:30
場所
国際棟(国際教育交流センター)
ラウンジ
入場無料、入場自由
様々な分野のプレゼンテーションを
お楽しみください。

学生プレゼンター募集

プレゼンテーションアワーでのプレゼンターを募集しています。自由なプレゼンテーションが可能です。興味がある方は応募フォームもしくはメールから応募ください。

応募フォーム

QRコードからフォームにアクセスして応募ください。



メール: presentation.hour@gmail.com
（名前、所属(学部等)、学年、連絡先を明記し、400文字以内で応募ください）

エントリー締め切り: 10月24日(木)

お問い合わせ: presentation.hour@gmail.com



主催: フレンドシップセンター学生チーム、国際教育交流センターの協賛
共催: スモーク、ルビコ、アリス

Presentation Hour



Vol.11 ~20 seconds of inspiration~

Presentation Guideline

Create 20 slides,
Present each in 20 seconds.

Japanese or English. Both are OK!

Free topics.
(Cross-cultural Experiences, Hobby,
Research achievements, etc.)

ex. Agrobiodiversity,
Culture and Mental Health care in Nepal,
Irish Traditional Music



Event Info

13. Dec (Fri) 16:30-18:30

@Lounge of
International Center (IEEC)

Free of Charge

Entrance and Exit Free

You can enjoy various presentation
with coffee & tea
in the relaxed atmosphere.

Recruiting Presenters

Please apply via **application form** or **E-mail**. We are looking forward to your presentation! We will review application forms and selection process will be held.

Application form

Scan this QR code and
fill in the application form.



E-mail: presentation.hour@gmail.com

Write your
1. Name, 2. Department & Year, 3. Language
4. Presentation Theme/Title

Application Deadline: 24. Oct (Thu)

Contact: presentation.hour@gmail.com



Coffee Hour

Organized by Presentation Hour Student Team, Small World Coffee Hour,
Advising and Counseling Services (ACS), International Education & Exchange Center (IEEC)



-- Presentation Themes --

Date: Dec. 13th Fri, 16:30 - 19:30

Place: 国際教育交流センター IEEC 1F Lounge

Times	Presenter	Title	Language
16:30		Opening remarks	
16:35	胡佳丽 HU Jiayu	雪男の冒険 - 絵本作りの極意 - The Journey of an Ice Man - Create your own graphic novel -	英語 English
16:55	孫天 Sun Tian	中国のおぼけ文化 Ghost Culture in China	英語 English
17:15	奥田恵梨菜 Erina Osada	見えぬ障害 The disability you cannot see	日本語 Japanese
		Coffee Break	
17:45	ペマ ドルジ Pema Dorji	国民総幸福とブータン Gross National Happiness : Bhutan	英語 English
18:05	ハシント コラン Jacinto Colan	技術の進歩がもたらす新時代の倫理的課題 Ethics in the time of Technology	英語 English
18:25	ライアン ニック ヤンバオ Ryn Nbiok Yumbao	文学、旅、紅茶 Literature, Travel and Tea	英語 English
		Coffee Break	
18:55	フレイザー ホルト Fraser Holt	パンの有効活用 - 大学生のための十分な食料 - The Logistics of Bread as a Substantial Food for University Students	英語 English
19:15	ビエット ドック ブイ Viet Duc Bui	あなたは私と同じ票ですか？私はあなたのヒーローですか？ Are you my type, am I your hero	英語 English

プレゼンターの履、写真やビデオの撮影をしております。興味のある方はぜひお越しください。
During the event, we are going to take a video and photo. If you are a guest, please sit at the reception.

●当日の様子



4. メンバー構成と心がけていること

●修士2年

嶋田耕太郎（国際開発研究科）

4年ほど活動に携わらせていただきました。毎回、個性豊かな講演者の方が参加して下さるので、運営としての立場だけでなく、イベントの参加者としても毎回楽しませていただきました。今後も活動を継続して下さると嬉しいです。

岩崎絵里加（情報学研究科社会情報学専攻）

今年度は、私もプレゼンターを務める機会があり、スタッフの視点とプレゼンターの視点の両方からプレゼンターを見ることができました。ただ自分の好きなことを話して、「プレゼン面白かったよ」って声をかけてもらえる機会は、講義や研究活動の中には

無い貴重な機会だと感じたので、プレゼンアワーが今後も続いていくといいなと感じました！

● 4年生

山道知可（法学部法律政治学科）

所属、学年、国籍を超えて様々な人が新しく繋がる、交流の場になればいいなと思っています。

● 3年生

立野智也（理学部数理学科）

発表者の方に参加して良かったと思っていただけるよう、こまめに発表者の方と連絡を取るなどのサポート面もしっかりとしていきたいです。

岩瀬友希（文学部人文学科）

オープンな雰囲気で様々な分野の人と交流できる環境をつくるとともに、プレゼンテーションを通して新たな発見をもたらす場をつくることを目指します。

若杉美穂（文学部人文学科）

担当するプレゼンターの方との繋がりを大切にしながら、皆さんに「楽しい」「来て良かった」と思えるようなリラックスした空間ができればいいなと思っています！

● 2年生

佐々木あみ（法学部）

プレゼンターさんもオーディエンスで来てくださった方たちも、参加してよかったと思える会を作っていきたいと思っています！

鈴木有咲（法学部）

プレゼンターと参加者が一体となれる暖かい雰囲気、毎回刺激で面白い素敵なお話に心を弾ませています。

小島未莉（経済学部）

年齢、国籍、学部など関係なく、プレゼンを通して自由に意見の共有が出来る場を提供することができてやりがいを感じると共に、毎回のイベントで自分自身も多くの考えや新たな発見をし、刺激を受けています。ゆるゆると、みんなで楽しくこれからもプレゼンアワーを作っていきたいです。また、もっとたくさんの人を巻き込んでいけたらいいなと思います！

●1年生

後藤瑠奈（農学部資源生物科学科）

色々なジャンルの面白い話を気軽に聴ける素敵な機会だと思っています。もっと多くの方々に知ってもらえるように頑張りたいです。